

氷見の土地改良

年頭に当たって



氷見市土地改良区理事長
氷見市土地改良協会会長
布子 誠剛

明けましておめでとうございます。組合員の皆様方には、健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、組合員の皆様方をはじめ関係機関の皆様方には、日頃から私共の土地改良区の管理運営等に、あたたかいご理解とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

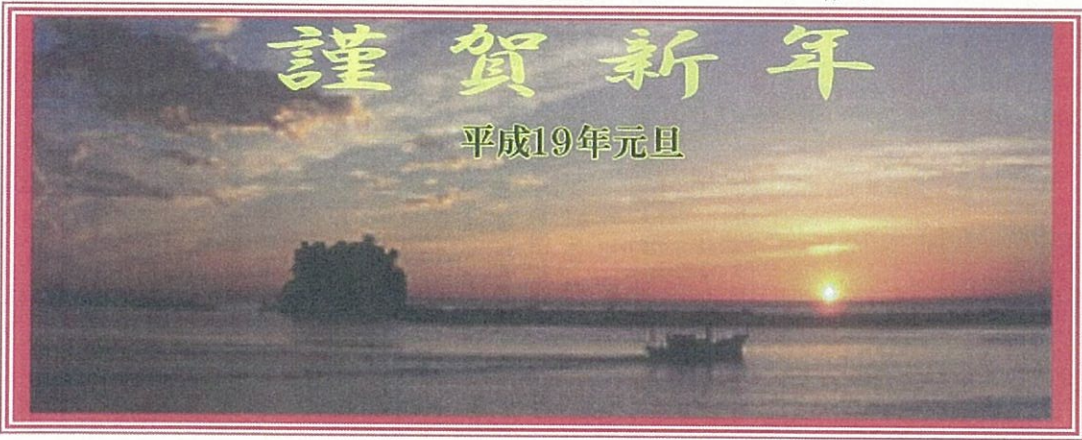
昨年九月二十日、安倍新内閣が誕生しました。首相は「美しい国、日本」を目指す国家像として掲げ、格差是正と「志ある国民を育て、品格ある国家、社会をつくる」と宣言されました。小泉内閣の五年五カ月は、さまざまな「格差」が広がったと言われました。そのうちのひとつに都市と農村の格差があります。我々の食、健康を守る農業、農村がしっかりとあり得ない「美しい国、日本」はあり得ないと思います。おおいに安倍新内閣に期待したいものです。

月となりました。本年度に予定しております諸事業も組合員の皆様方をはじめ、関係機関のあたたかいご理解とご支援によりまして、順調に進捗しております。特に一昨年から進めて参りました、十二町潟排水機場のポンプの補修工事は、今年度を以って概ね完了することになっております。最終年度となり、本年もご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

これらの補修工事にみられますように、二十一世紀は開発の時代から管理の時代へと転換していかねばなりません。今まで蓄積したストックをいかにうまく活用していくか、長寿命化を図りながら、いろいろな価値をどう引き出していくか、ということが基本的な方向になるものと思っております。

高岡市五位地区の「五位ダム」は、早いもので築造後十五年が経過します。この間、安定的に氷見市にかんがい用水を供給し続けてまいりました。しかし設備の運転

第43号
発行所
氷見市窪938
氷見市土地改良区
TEL0766(91)0083



管理に支障をきたすような劣化や機能低下が見られることから、県では、平成十九年度から県営事業として一部施設の更新事業に取り

組んでいただけのことになりました。今年三月末をもって期限切れとなる五位ダムからの水利権の更新事業と合わせ、管理の時代の象徴的なものとして、これに取組まなければなりません。

いよいよ平成十九年度から戦後最大の農政改革と言われております品目横断的経営安定対策が導入されます。この対策と「車の両輪」に位置づけられるのが、農地・水・環境保全対策です。農村集落を面として活性化するため、地域の共同活動を支援するものです。まずは活動組織を立ち上げようではありませんか。

自らを「味覚人飛行物体」と名乗るほど世界の食を食べ歩き、食文化に精通した東京農業大学の小泉武夫先生はエッセイの中で「我輩はこれまで、幾度となく富山県を訪れたのであるが、行く度に食べ物の豊かさや美味しさに期待を裏切られたためしは一度もない」と記しておられます。まことをもって勇気を与えていただけ言葉です。

神の為した「豊穰の地」と云われるこの地で農業を営むことのできる誇りを持つことが必要ではないでしょうか。

今年猪年で猪突猛進、農業の活性化について後ろを振り返るのではなく前向きに対応したいものです。

年頭にあたり、組合員の皆様方にとって幸せ多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。



迎春
平成十九年
元旦

- 氷見市土地改良区
- 理事長 布子 誠剛
 - 理事長代理 龜田 哲男
 - 常務理事 久保 吉明
 - 理事 廣沢 昭二
 - 北村 孝信
 - 原田 育弘
 - 地家 太一
 - 辻 善一
 - 飯山 喜作
 - 新屋敷義成
 - 小橋 賢治
 - 村田 邦夫
 - 大石 勝巳
 - 大橋 豊一
 - 南條 重一
 - 山外 一郎
 - 上森 毅
 - 扇浦 一男
 - 屋敷泰次郎
 - 坂本 昭男
 - 木和田 勝
 - 久保 清
 - 伊藤 一男
 - 上野 一良
 - 上野 達治
 - (順不同)
 - 中原 昌子
 - 宮村 静雄
 - 堀内 信二
 - 守田 勇二
 - 他 職員一同
- 総務課長
事業課長
管理課長
課長代理
- 総括監事
監事



氷見市長 堂故 茂

新年あけましておめでとうございます。皆様には、清らかな新春の門出をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、近年にない大雪にみまわれ、とりわけ、山間部では、豪雪ともいえる深い積雪を記録しました。皆様方には、待ちわびた春の訪れとともに、農作業に励まれたことと存じます。皆様のご努力もあり、昨年の県内水稲作況指数は、「一〇二」の「やや良」、また、本市におけるうるち米の一等米比率も高い水準を維持できました。これも農家の方々や農業関係機関のご尽力、そして、五位ダムからの安定した農業用水の提供などがあってのことと深く感謝を申し上げます。

さて、今、日本は、戦後最長の景気拡大が続けておりますが、地方では実感が乏しいといえます。また、国では行財政の様々な改革に取り組んでおり、地方自治体を取り巻く財政環境も、厳しさを増してきております。市ではこの局面を乗り切るため昨年策定した「集中改革プラン」に基づき、更なる行政改革を実施してまいります。

農業を取り巻く環境も、大きく変化しており、この四月からは、「品目横断的経営安定対策」がスタートいたします。市といたしましては、

「氷見市担い手育成支援協議会」を核として、国の新たな農業政策に対応できるよう集落営農組織の拡大や認定農業者の育成に努めて参ります。また、地消地産を一層推進するとともに、氷見の食材を全国に発信し、「食都ひみ」を更に高めていきます。

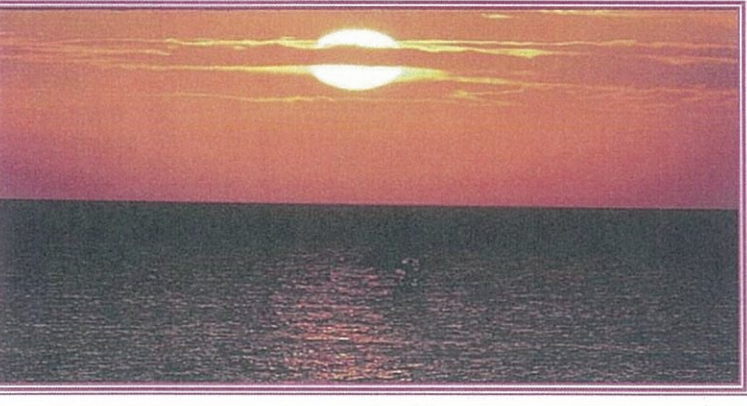
今年、氷見市にとって大きな転機が訪れようとしております。能越自動車道が、この春三月に氷見インター(仮称)まで供用開始となります。長い間待ち望んでおりました高速交通網の開通は、氷見市の魅力をより輝かせてくれることと大いに期待しております。更に、平成十九年度末には、東海北陸自動車道が全線開通します。これらを飛躍の機会と位置づけ「人と自然がなごむ二百万人交流の元気なまち」を目指してまいります。

昨年、氷見市は、「循環・共生・参加まちづくり表彰」を環境大臣からいただき、また、「保険事業推進功労厚生労働大臣表彰」、「全国花のまちづくりコンクール花のまちづくり大賞」を受けました。どれも、市民の方々

と共に力を合わせ、まちづくりを推進してきた賜物であります。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。氷見市出身の実業家、浅野総一郎は、鋭い着眼点をもって懸命に働き、幾多の困難を乗り越え、新たな事業に挑んでこられました。氷見市も、行政と市民が共にアイデアと汗を出しながら、氷見らしさに磨きをかけ、夢を形にかえながら活力と豊かさが感じられるまちづくりに取り組んで参りますので、本年も一層のご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念するとともに、実り多い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

新年のご挨拶



富山県高岡農地林務事務所 所長 長崎 助秀

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、平成十九年のすがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から、農業の振興と農村の活性化、そして農業農村整備事業の推進に、ご尽力とご支援を賜っております。昨年、ご厚くお礼申し上げます。

昨年は、近年まれに見る大雪に見舞われ、融雪に伴い五位ダム湖面の一部に地すべりが発生し、夏場の湖水を心配しておりましたが、かんがい期の降水も比較的安定に推移したことにより事なきを得、今復旧への工事に着手できたことで一安心いたしているところであります。

また、平成十三年度の着工以来、当事務所で実施しております担い手育成基盤整備事業「新保地区」が、昨年十一月二日に権利者会議が終了し完工の運びとなっており、この間における関係者のご努力に深く敬意を表します。引き続き、継続中の県営基幹水利施設補修事業「十二町湯2期地区」の排水ポンプ補修や中山間地域総合整備事業「とやま西部丘陵地区」を平成十九年度に完了する予定であり、関係する皆様方のさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

さて、農業や地域社会を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、

農政については平成十七年十月に国が決定した新たな米政策「経営所得安定対策等大綱」により、担い手の経営に着眼した所得政策への転換が平成十九年度から実施されることとなりました。

当事務所においても、本大綱の「農地・水・環境保全向上対策」の導入に向けて、氷見市ふるさと整備課と一体となって普及啓発に努めてきたところです。この対策は、農村の高齢化に伴い、農地や農業用施設維持管理が困難となるなかで、集落ぐるみでこれらの保全管理と農村環境向上を市と五年間の協定をしながら実施するもので、氷見市では農地の約四分の一が取り組まれる予定となっております。

氷見市土地改良区におかれましては、この対策に積極的な役割をお願いとすとともに、引き続き、地域農業の振興と農村の活性化に対する主要な担い手として、基幹的排水施設についても適切な維持管理を進められますよう、組合員の皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第34回通常総代会開催

平成十八年度
一般会計収支予算
一億九千七百六十万円
特別会計収支予算(十会計)
八億九千八百九万五千円

第三十四回の氷見市土地改良区の通常総代会が平成十八年三月二十四日午後一時三十分より氷見市農業会館四階ホールで開催されました。

来賓として氷見市長様はじめ県および市の関係機関から幹部の皆様方の出席を賜りました。

会議に先立ち主催者側を代表して布子氷見市土地改良区理事長の挨拶に引き続き堂故市長、立花

富山県高岡農地林務事務所長の両氏から御祝辞を頂戴しました。議案審議の前に議長の選出が行われ、碁石地区の森本成剛氏が選ばれました。

会議は、「平成十八年度事業計画及び収支予算の議決について」等、十の案件について審議され、いずれも原案の通り可決承認されました。

可決承認されました議案の概要は次の通りです。
・議案第一号



堂故市長より祝辞を賜りました。

同収支予算について
事業計画では、指崎地区の適正化事業など四件、県単事業一件を実施。
一般会計の予算を収支それぞれ一億九千七百六十万円とするもの。
収入の主なものに組合費一億二千八百七十二千円、補助金・助成金で五千三百二十七万八千円、支出では国営事業維持管理費五千五百二十八千円、事業費千八百三十万九千九百九十九円等です。

・議案第三号

平成十八年度特別会計収支予算について

・平成十八年度国営かんがい排水事業積立金収支予算一億六千六百六十五万九千九百九十九円

・平成十八年度転用決済積立金収支予算一億七千三百三十五万九千九百九十九円

・平成十八年度役員退任慰労積立金収支予算三百四十二万九千九百九十九円

・平成十八年度職員退職給与積立金一億千六百二十三万六千九百九十九円

・平成十八年度基本財産積立金収支予算八千二百二十一万九千九百九十九円

・平成十八年度国営かんがい排水事業維持管理積立金収支予算二億千五百三十一万九千九百九十九円

・平成十八年度国営かんがい排水事業維持管理積立金収支予算二億千五百三十一万九千九百九十九円

・平成十八年度国営かんがい排水事業維持管理積立金収支予算二億千五百三十一万九千九百九十九円

立金収支予算二億千五百三十一万九千九百九十九円
平成十八年度国営かんがい排水事業維持管理修繕積立金収支予算四千三百五十六万三千九百九十九円
平成十八年度十二町潟沿岸管理区収支予算六千六百六十八万九千九百九十九円

・議案第九号
定款の一部変更について
償還金の完済による事業の削減
の削減

・議案第十号
役員候補欠選挙について
理事一名の死去に伴う補欠選挙

・議案第十一号
選挙の結果、氷見市稲積の大橋豊一氏が新しく理事に就任されました。

・議案第十二号
平成十八年度十二町潟沿岸管理区維持管理積立金収支予算二千二百六十八万三千九百九十九円

・議案第十三号
平成十八年度農林漁業資金の借入について

・議案第十四号
新保地区の経営体育成基盤整備の平成十八年度事業費に係る地元負担金の借入

・議案第十五号
平成十八年度一時借入金について

・議案第十六号
平成十八年度組合費の賦課及び徴収方法等について
従前のとおり

・議案第十七号
平成十八年度現金の預入先について

・議案第十八号
平成十八年度役員報酬について

表彰表

長年にわたり土地改良区の管理運営にご尽力された左記の方々、各々の所属長から賞状と記念品が授与されました。

※富山県土地改良事業団体連合会 会長賞
氷見市土地改良区理事長 布子 誠剛氏

※高岡土地改良協議会会長賞
氷見市宇波土地改良区理事 向井 義雄氏

西条畑地かんがい土地改良区理事 旦保 行雄氏



河合富山県土地改良事業団体連合会会長より表彰授与される布子氏

平成十八年度第一回臨時総代会開催

平成十七年度一般会計及び特別会計(十会計)の決算が承認されました。

平成十八年十月三十一日、水見市農業会館四階ホールで平成十八年度第一回臨時総代会が開かれ、公務ご多忙の折にもかかわらず、来賓として堂故市長様をはじめ長崎富山県高岡農地林務事務所長様並びに県、市の関係幹部の皆様方のご臨席を賜りました。



長崎所長よりお祝辞を頂戴しました。

会議に先立ち主催者側の布子理事長の挨拶その後、堂故市長、長崎所長の両氏からそれぞれ、お祝辞を頂戴しました。定款の定めにより、総代会の議長に加納地区の玄勉氏を選出して、提出された議案の審議に入りました。

提出された議案九件は、いずれも原案のとおり可決承認されました。審議された議案の概要は次のとおりです。

議案第一号

平成十七年度事業報告及び収支決算について

県単事業四件と適正化事業二件の実績報告及び一般会計歳入決算額二億三千九百九十一万二千六百八十五円と歳出決算額二億二千三百六十二万六千七百九十九円が承認されました。尚、収支の内訳は下記のグラフとおりです。

議案第二号

平成十七年度特別会計収支決算及び同財産目録について 特別会計では、国県営かんがい排水事業積立金の収支決算など十件の会計の決算が承認されました。会計別の内訳は下記の表のとおりです。

財産では資産合計七億六千八百一十三万九千七百四十八円、負債合計十二億六千六百八十七万七千三百三十八円となりました。

議案第三号

平成十八年度事業計画の変更及び同収支補正予算について 事業計画では、県単事業が一

箇所追加されて二箇所を実施します。また、予算では換地精算金の階増など千七百十七万円が増額されて収支とも二億千四百七十七万円とします。

議案第四号

平成十八年度特別会計収支補正予算について 十二町瀧沿岸管理区で電力料金の増と電気機器の修繕で百四十万円を補正して収支を六千二百万円とします。他の特別会計は当初予算のとおりです。

議案第五号

県営土地改良事業施行申請について 五位ダムの管理システム等の老朽化に伴う施設の更新を県営事業として実施するため、総代会の承認を経て県知事に申請するもの。

議案第六号

定款の一部変更について 五位ダムの管理システム等の施設更新事業を定款に位置付けるもの。

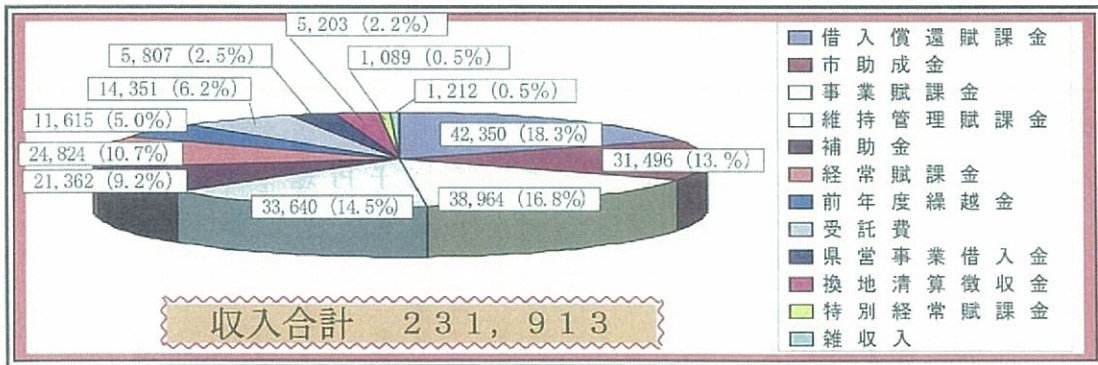
議案第七号

財産の処分について 土地改良区名義の公衆用道路敷を県道の改良に伴って必要となったため富山県に売却するもの。

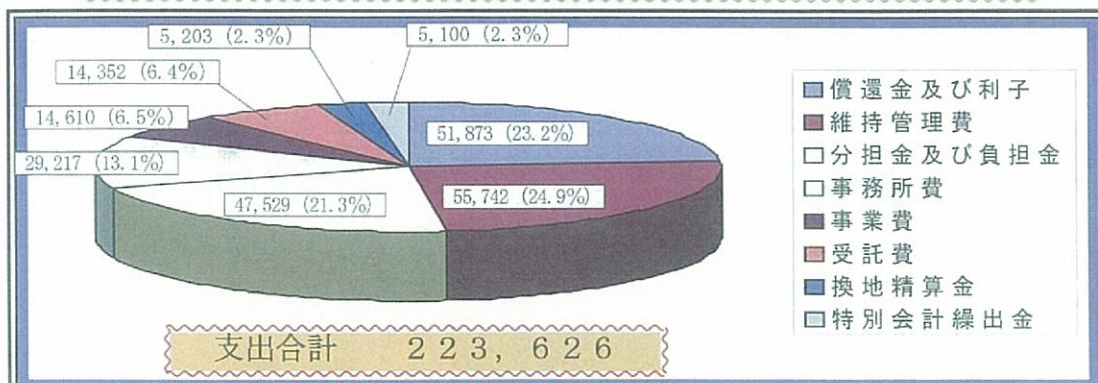
議案第八号

維持管理計画の変更について 国県営かんがい排水事業の整

備によって増大した土地改良施設を現在の管理計画書に追加するもの。 議案第九号 役員への補欠選挙について 監事一名の欠員に伴う補欠選挙の結果、久目地区の上野達治氏が当選されました。



平成17年度一般会計決算額の内訳 (単位:千円)



特別会計差引残額

・国県営かんがい排水事業積立金	0
・転用済積立金	168,970
・役員退任慰労積立金	3,110
・職員退職給与積立金	113,803
・基本財産積立金	81,210
・国県営かんがい排水事業維持管理積立金	203,094
・国県営灌漑排水事業維持管理修繕費積立金	40,113
・十二町瀧沿岸管理区(3件)	50,537

氷見市土地改良協会

平成十八年度 通常総会報告

氷見市と市内四土地改良区及び事業実施中の十六工区で組織する氷見市土地改良協会の総会が昨年の六月五日に開催されました。

当協会の会長であります布子理事長の挨拶、来賓として出席されました荒屋氷見市産業部長様から御祝辞を賜りました。

会則に則り会長が議長を務め、提出されました三議案の審議が行われ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

総会終了後、会員研修として石川県白山市（旧松任市）の手取川七ヶ用水土地改良区を視察しました。当土地改良区は平成十六年度に「二十世紀土地改良区創造運動大賞」の全国表彰を受賞されてお

り、今、最も輝いている土地改良区の一つです。農業用水を「知る、触れる、育む」をキーワードにいろいろな活動を展開中です。活動の母体として、地



手取川七ヶ用水土地改良区では、かんがい用水を利用して小水力発電を行っています。最大出力630kwを発電し、年間千円の純利益を出しています。

域用水対策協議会を組織して、活動の企画・運営を行っています。今後の土地改良区のあり方を模索する中で大いに参考となりました。またこの土地改良区は、携帯電話から水門の開閉の操作をしています。十二町潟排水機場を三百六十五日、二十四時間、管理を義務づけられています。

我々土地改良区にとって、今後の研究課題となりました。また、組織の規模は私共の改良区と同程度ですが賦課金は、自動振替で収納率は100%と聞いて徴収方法の参考となりました。

「代議員及び役員」の任期満了となる日が近づいています。

十二町潟沿岸管理区の代議員及び役員は、今年の三月二十五日をもって任期が満了となります。代議員の定数は、四十五名で、その選出区分は次の通りです。また、役員の数も、理事十名及び監事三名となっています。

理事及び監事数

選出ブロック	理事	監事
十二町農協支所管内 (氷見農協支所管内含む)	3名	1名
窪	2名	1名
柳田	1名	
子勢	1名	1名
布代	1名	
神代	2名	1名
計	10名	3名

十二町潟沿岸管理区

お知らせ

◎道路整備等の公共事業で農地が潰れた場合でも農用地区域からの除外申請と転用決済金の支払いが必要ですが、この手続きを行っていただかないと農地が潰れた後でも、継続して賦課金が賦課されるので、必ず手続きを行ってください。

◎賦課金の納入は口座振替が便利です。

口座振替にしますと自動的に賦課金の納入手続きができますので大変便利です。口座振替の手続きは当土地改良区又はJA各支所にお申し付け下さい。

※代議員又は役員に立候補する届出の詳細については、氷見市土地改良区までお問い合わせ下さい。



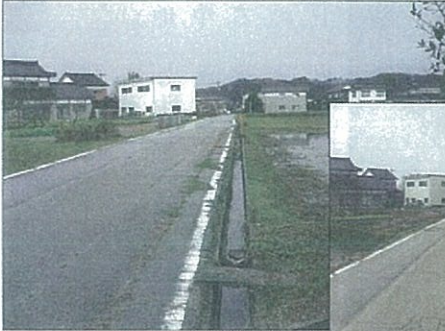
新しい代議員及び役員を待つ十二町潟排水機場

- ・経常賦課金
 - 氷見市農協中央支店
 - (普) 口座番号 1059275
 - 口座名義：氷見市土地改良区 (一般会計)
- ・国営事業賦課金
 - 氷見市農協中央支店
 - (普) 口座番号 1065773
 - 口座名義：特別会計 国営かんがい排水事業積立金

《平成17年度》土地改良事業工事実績の概要

区分	工事名	工事量	工事場所	工事費(千円)
維持管理適正化事業	胡桃揚水機改修工事	多段ポンプΦ100mm 1台 配管1式	胡桃地内	4,357.5
維持管理適正化事業	井堰・水門・管理橋塗装工事	エポキシ樹脂塗装A=17㎡塩化ゴム系塗装A=61.6㎡	阿尾地内	1,554
維持管理適正化事業	用水路改良工事	BF1000型布設L=18m 自由勾配側溝1.0×1.2 L=4m	阿尾地内	1,837.5
県単整備事業	稲積用水路改良工事	用水路改良L=116m 暗渠L=12m	稲積地内	4,263
計	4箇所			12,012

(工事の一例)
 県単独農業農村整備事業
 稲積用水路改良工事



着工前



竣工



着工前



岐阜県土地改良事業団体連合会役員の視察研修

主な団体は次の通りです。
 ※平成十八年六月二十一日
 新潟県胎内川沿岸土地改良区から役員等十七名
 ※平成十八年八月三十日
 「県政バス」事業の一環として県東部の方から二十七名
 ※平成十八年十月五日
 懸札地区「つくしの会」から十一名
 ※平成十八年十一月一日
 岐阜県土地改良事業団体連合会から役員及び管内土地改良区から四十三名
 ※平成十八年十一月四日
 八尾町杉原土地改良区から十三名

昨年もたくさんの方々が視察に訪れられました

謹んでお悔やみ申し上げます

氷見市土地改良区役員として、当土地改良区の管理運営にご尽力賜りました、左記のご両人が昨年ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の誠をささげ、ご冥福をお祈りいたします。

★ 大門 明次様 (理事)
 二月二十八日ご逝去
 ★ 大畑 秀正様 (監事)
 七月三日ご逝去

事務局からのお願いです

確定申告は組合員自ら申告手続きをすることになりました

土地改良区の賦課金は、経費として計上できます。賦課金の領収書は、確定申告の際必要です。大切に保管しておいてください。

左記に該当する組合員は資格の得喪の届けが必要です

- ☆住所や組合員名を変更する場合
- ☆農業者年金を受けるため、経営移譲した場合
- ☆農地の売買、贈与、交換などで名義変更があった場合
- ☆組合員の死亡により、農地を相続した場合

【氷見市土地改良区の概要】

(平成18年3月末現在)

〔愛称〕 ; 水土里ネット氷見
 〔受益面積〕 ; 3,009ha
 〔組合員数〕 ; 6,409名
 〔総代及び役員定数〕 ;
 総代90名
 理事21名 監事4名
 〔職員数〕 ; 正職員 7名
 嘱託職員 3名

編集後記

「庭上の一寒梅」
 笑って風雪を侵して開く
 争わず又力めず
 自ら百花の魁を占む

同志社大学の創始者新島襄は、この時期、風雪をしのいで、どの花よりも一番咲きに咲いた梅を見て、右記のような詩を詠んでいます。

苦節訓練に耐えながらも、自然体で世の先覚者、指導者となつた人物にたとえたものと云われております。

いよいよ本年四月より戦後最大と言われる農政改革がスタートします。

我々農業関係に携わる者は、これまでいろいろな困難にも耐えてきました。このような時節だからこそ争わず、無理をせず、終始ゆとりを持ち、自然体での改革に立ち向かいたいものです。

今号はじめて「氷見の土地改良」のレイアウトを試みました。素人故の稚拙な新聞となりましたが、お許し頂き、感想などをお聞かせ頂ければ幸いです。

(Y.K)